

鳥栖市民文化会館の現状と今後について

1. 施設の老朽化について

単位：千円

項目	改修費用	本年度予算	備考
(1) 舞台機構(吊り物)	246,400	12,000	
(2) 音響設備	74,933	7,000	
(3) 電気(消防設備含む)設備	25,374	10,000	
(4) ホール天井耐震化整備改修	—	—	平成26年4月法改正
(5) 客席のクリーニング及び清掃	11,381	497	
(6) 漏水工事	—	—	
(7) 空調設備	54,556	1,000	
(8) エレベーター改修	32,116	0	
合計	444,760	30,497	6.9%

2. 障害者や高齢者等の利用者からの要望について

● 過去の要望の例

- (1) 楽屋及び練習室へのエレベーターの設置
- (2) 舞台へ上がるためのスロープ及び昇降機の設置
- (3) 舞台及び舞台道具格納庫へ上がるための荷物用エレベーターの設置など

- 平成28年4月1日から施行される障害者差別解消法により、障害者からの求めがあった場合は何かしらの対応が必要になると考えられる。

3. 今後について

- (1) 市の公共施設整備計画の策定が予定されている。
- (2) 鳥栖市民文化会館の改修計画について、どこまでが現実的な計画となるのかについて検討していきたい。改めて、運営審議会へ諮問することとなる。